

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

松戸市 21世紀の森と広場

2023
June 6

ガバナー月信 Vol.12



IMAGINE ROTARY

Rotary District2790

発行/2023年6月1日
COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)

地区スローガン

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、 千葉から世界を変えていこう！」

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度

ガバナー 小倉 純夫(松戸RC)



地区大会記念ゴルフ大会 グループ対抗戦 優勝 第4グループ

ロータリー親睦月間に寄せて

今月はロータリーの親睦月間です。改めて、ロータリーの「親睦」とは何でしょうか。クラブにおいて行なわれるゴルフコンペ、飲み会、釣りといった趣味や娯楽を目的として集う会員の活動を「親睦」というのでしょうか。いいえ、そうではありません。ロータリーはゴルフをやる機会を提供するためにはありませんし、酒を飲む楽しみを奨励するためにはありません。ロータリーの親睦(Fellowship)とは友情(Friendship)よりも一段と強いつな

がりを言うのです。ロータリーの目的・理念を共にする互いの信頼で結ばれた仲間意識を育む場としての例会や奉仕活動のことです。ロータリアンが集う全ての場を「親睦」といいます。ロータリーは様々な職業人・実業人の集まりであり、奉仕を志す人の団体であって、奉仕の機会としての知り合いを拡めること、これを親睦活動といえます。

しかし、そうは言っても信頼で結ばれた仲間意識を築くためには、会員同士互いに人となりをよく知り合う必要があります。そして、そのためには親睦の機会としてのゴルフコンペ、飲み会等の娯楽や趣味を通じて会員同士が互いに知り合うことは大切です。ただ、そればかりでは単なる仲良しクラブで終わってしまいます。コミュニケーションを通じて互いに尊敬し合えるようになること、そして互いに相手の身になって考えることができるような関係となることが肝心です。「思いやり」や「相手の身になる」ことを学び、またその修練をする場こそが

「親睦」なのです。

この3年間に及ぶコロナ禍によって、ロータリーの親睦と奉仕は大きな試練を受けました。コロナ禍の中、飲食店等のサービス業の方々は、その事業経営に大変苦勞されました。公式訪問に伺った際も、少なからずの会員がコロナ禍のため退会を余儀なくされたとお聞きしました。このコロナ禍で、ロータリーばかりでなく社会全体として最も良かったことはオンラインでの情報伝達、コミュニケーションが大いに利用されるようになったことではないでしょうか。遠く離れた場所においても互いの顔を見てオンラインの会話が可能となり、例会も対面と同様とまでは言えないまでも、何とか実施することができたのではないのでしょうか。そしてそれは、逆に言うと会員同士一堂に会しての対面での例会の楽しさ、有難さを思い知ることになったのではないのでしょうか。

ロータリーの基本は言うまでもなく、親睦と奉仕です。この2つを車の両輪として発展してきました。どちらが主で、どちらが従ということはありません。しかし、ポール・ハリスは何故ロータリーを作ったのですかと尋ねられた際、「ただ淋しかったから」と答えたことは有名ですし、ロータリーを始めた出発点は親睦にあったことは明らかです。お互いに信頼できる仲間との繋がりが、地域に根差した奉仕につながるのだと思います。まさに「親睦の上に乗った奉仕」(小堀憲助氏)と言うことができます。

通じて切磋琢磨して人格を磨き、自らの品格と徳性を高め、人間としての成長を目ざしています。例会は親睦を育む場であり、学びを深める場であり、それらが一体で充実していればこそ栄養に満ちた土壌となりロータリーという苗木が立派に成長していくものです(ガイ・ガンディカー)。楽しく仲間との交流を図り、人間としての成長を促す場としての例会の実現をクラブ会長、幹事は心懸けるべきです。会員は皆忙しい時間をやり繰りして例会に参加していることを肝に銘ずるべきです。

そして、会員それぞれがご自分の職業の質や職業倫理の向上を図り奉仕の理念を育み、それを実践することがロータリーの目的なのです。

最後に、私たちロータリアンは少しでも明るい未来をIMAGINE(想像)しながら、ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、ロータリーを楽しみながら奉仕の理念を実践し、千葉から世界を変える行動を起こしていきましょう!

第2790地区すべてのクラブ、ロータリアンの皆様、1年間ガバナー月信をお読みいただき有難うございました。



1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 地区研修リーダー 得居 仁 (松戸東RC)



いま振り返ってみれば何と云うことのない当たり前のことだったように思われますが、小倉純夫ガバナーは就任に先立つ国際協議会

がオンラインで、また規定審議会がオンライン併用で開催されるという厳しいコロナ感染状況の中、地区3大セミナーを、そして更には地区大会を敢然として対面で行うことを決断され、どれも文字通り成功裡に終わらせました。押し量ることが到底出来ない重圧に耐えてこのような果敢な決断をされた小倉ガバナーに心から敬意を表する次第であります。

小倉ガバナーは最初の地区チーム研修セミナーにおいて、「ロータリーの目的である奉仕の理念は職業奉仕である」とし、ロータリーの目的、目指しているものが職業奉仕の推進にあると闡明されました。誠に心強い出発でありました。

また、地区研修・協議会において、ややもすると抽象的で曖昧なままに終わってしまう「元気なクラブ」とは、①明確な目標があり、それに向かって会員同士が協力し合っ

ていて、情報の受発信が行き届いているクラブであると分かり易く明確に定義されたうえで、クラブ指導者の皆様に、ガバナーと一体となってそのお手伝いをするガバナー補佐・地区委員会委員と手を携えて「元気で活発なクラブ作り」をしようと呼びかけられました。

奉仕活動の主体であり自治権を有しているクラブの連合体であるに過ぎない国際ロータリーが、1978年の3Hプログラム導入に引き続いて1988年のポリオプラスプログラムの開始へと自らが奉仕活動の主体となり、これらの活動を含む財源確保のために、ロータリークラブを単なるロータリー財団寄付集めのツールと捉える動きは止まる気配がありません。国際ロータリーとロータリー財団を組織的にも一体化することを企図したGlobal Volunteer Cadreなる役員の設置と地区・ガバナー制度の廃止を主たる内容とするSRF(ロータリーの未来形成)採用の試みは多くの根強い反対を受けて頓挫しましたが、国際ロータリー本部職員組織は、何の根拠を示すことなく、会員減少防止、会員増強に資するとして、2022年規定審議会でのトリッキーとしか云いようのない強引な議事進行により、地区・ガバナー制度を廃し、理事会がほぼ直接クラブを管理する試験的プロジェクトを一部のゾーンに適用す

ることに成功しました。

国際ロータリーが試験的として提案したプログラムは、結果についての十分な検証を経ることなく、全て正式なプログラムとして採用されてきた歴史がありますから、地区・ガバナーの廃止を通じてクラブの自治権を大きく篡奪し、理事会が直接的にクラブを管理することにより、国際ロータリーの奉仕活動主導を更に強化する制度の採用はほぼ確実であると考えられます。

このような国際ロータリーの偏向路線強化に抗して、ロータリーの本質に根差したロータリークラブとして厳然と存在し、本来そうあるべき奉仕活動の主体としての地位を守り続けるためには、地区内クラブ一つ一つが元気で活発であることが何よりも不可欠であります。

皆様のクラブが小倉ガバナーの唱導の下に目指された元気で活気溢れるクラブであり続けて頂くよう、心より祈念して最後のご挨拶といたします。

1年を振り返って「貴重な経験」

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 地区幹事長 織田 信幸 (松戸RC)



2022-23年度小倉ガバナー年度、地区幹事長の職責を全うするまで余すところ1か月となりました。

この間、関係者の皆様には絶大なるご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

振り返ると小倉年度がスタートした昨年7月は新型コロナの第7波が押し寄せ始めた頃で8月に入ると1日当たりの感染者数も全国で20万人を超え、中旬には26万人という過去最大の感染者数を出した時期でありました。

7月中旬から始まったガバナー公式訪問でありましたが、一部のクラブで再び例会

を休会にするところもあり、この先ガバナー公式訪問を計画通りにこなすことが出来るのか、そしてその後に控える10月の地区大会が予定通りに開催することが出来るのか一抹の不安を感じながら頭を悩ます毎日でありました。

結局はお盆を過ぎた辺りから第7波も収束に向かい、その後のガバナー公式訪問は順調にこなすことが出来、地区大会も3年ぶりにインパーソンで開催することが出来たのは幸いでありました。

小倉ガバナーが当初、望まれた地区大会はコロナを克服し地区内のロータリアンが一同に集い、お祭りのような雰囲気の中、祝い合う大懇親会の実施が目玉の一つでありました。しかしながらそこまでには至らず

懇親会自体は取り止めとなりましたが、俳優でロータリアンである高橋英樹氏の記念講演や歌手の渡辺真知子さんをゲストに迎えたジャズコンサート、地区内のロータリアンの仲間が出店した大物産展や各委員会活動の広報パネル展示を行う事によりコロナ禍で停滞気味になっていたクラブの親睦活動や奉仕活動に刺激を与え、ロータリアンを元気づけるインパクトのある地区大会になったと自負するところであります。

今年度小倉ガバナーの地区スローガンは「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」であります。その目指すところは終始一貫してクラブの活性化、元気あるクラブ作りを支援することでありました。

地域に根差した奉仕活動を実践することにより、クラブが活性化され、地域社会に変化をもたらす、強いては世界を変える一歩になるとの考えです。

ガバナー補佐の皆様にはそのガバナーの想いを各クラブへ繋いでいただきました。ガバナー公式訪問に始まりR情報研修会、IM(インターシティ・ミーティング)をグループ合同や単独開催で実施していただき、1年間を通じその力を十分に発揮していただきました。また、各委員会は当初、計画したセミナーや事業もコロナ感染状況が日々変わる中でも、臨機応変に対応し、実施していただきました。各委員会の皆様には実施にあ

たって大変なご苦勞があったと推察いたします。

今年度小倉ガバナーチームの原動力となって盛り上げていただいたガバナー補佐、地区委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

最後に、ここで改めて幹事長・幹事団の責務とは何かと問うた時、私見ではありますが一言で表すとすればガバナーが1年間を通じ、地区運営を心置きなく思いっきり力を振るってもらえる様、側面或いは足元から支え、お手伝いして行くことに尽きるのではと考えるわけでありました。

果たして幹事長としてその役割を十分に果たすことが出来たかどうかは小倉ガバナーのご判断に委ねるところですが、少なくともわたくし延いては小倉ガバナーを支えていただいた地区幹事団の皆様は間違いなくその想いで取り組んで頂いた一年であったと思います。

沢山の友人から幹事長大変だねと労いの言葉を頂きました。

いえいえ、楽しかったです。この1年間、幹事長としてとても貴重な経験をさせていただきました。今後はこの経験を糧にこれからもロータリーライフを楽しんでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。

ガバナー補佐 1 年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第1グループ ガバナー補佐 山崎 智弘 (市川シビックRC)



新型コロナの第7波が、猛威を振るう中、小倉ガバナー年度はスタートいたしました。

ガバナー補佐会議も年度当初は、オンライン、Zoomによるハイブリッド形式で始まり、些か困惑し活動にも不安がありました。

ガバナー公式訪問も例会の休会が続き、予定通りに行うことが難しい状況でした。

そのような中、徐々に平常に回復し地区大会、グループ内では情報研修会、IM等、開催出

来た事は幸いでした。

ガバナー補佐を拝命し、各クラブを訪問させて頂き、どのクラブも親切に温かく迎えてくださった事、その厚意に感謝しかありません。

浅学非才は承知の上、もう少し上手に出来たのではないかと反省しながらも精一杯の活動はさせて頂きました。何より沢山の学びがあり、自身のアップデートに繋がりました。

小倉ガバナー、織田幹事長、同期のガバナー補佐の皆様大変お世話になりました。

また、第1グループの会長・幹事をはじめ会員の皆様のご協力に衷心より拝謝申し上げます。

ガバナー補佐 1 年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第2グループ ガバナー補佐 山崎 新一 (船橋東RC)



ガバナー補佐の任は時に重いと感じたこともありましたが、地域を越えたロータリーの友とのかけがえのない出会いを得たこと、様々な見識を広められたこと、貴重な機会をいただいた一年でした。

小倉純夫ガバナーの分身として、グループ内の各クラブを活性化し、元気なクラブ作りを支援する為に会長・幹事会で、「元気なクラブとは？」と題して、アンケートを実施し、明確になったクラブの特色や問題点への取り組みをお願いしました。

補佐の公式訪問では「ガバナー月信」を熟読して頂くこと。

「世界ポリオデー」では、チャリティボウリングを開催し、150,952円の浄財をお預かり致しました。

情報研修会を第2・3・4グループ合同で開催し、研修と交流に務めました。

IMは「土屋亮平パストガバナー」をお迎えして、「職業奉仕」のご講演をいただきました。

親睦ゴルフを開催し、地域を越えて総勢49名の登録を頂きました。

会員の皆様、会長・幹事、各事務局のご協力に感謝を申し上げます。

ガバナー補佐としての1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第3グループ ガバナー補佐 星 聡 (新千葉RC)



2022-23年度小倉ガバナーのもと、ガバナー補佐として第3グループを担当させて頂きました。

第3グループは、全7クラブで構成されており、

個々のクラブの歴史、考え方、価値観などは、当然各クラブそれぞれであります。ガバナー補佐として、各クラブの「らしさ」あるいは「イズム」というべきものを最大限に尊重する中で、RIや地区との折り合いをつけながら、着実に地域や世界に奉仕をしていくための一助となることを目指し、活動さ

せて頂きました。

コロナの影響による様々な制約もありましたが、今年度、第3グループとして、情報研修会(第2・第3・第4グループ合同開催)、IM(第3・第4グループ合同開催)、親睦ゴルフ大会等、様々な事業を開催することが出来ました。

共に企画、運営をして頂いた皆様方、そして何より、多岐に渡りご指導、ご協力を賜りました第3グループ全7クラブの皆様方に、心より御礼を申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

ガバナー補佐1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第4グループ ガバナー補佐 鈴木 美津江 (千葉南RC)



2022-23年度第4グループガバナー補佐を務めさせて頂きました。皆様の御協力感謝申し上げます。

何より今年度は私自身ロータリーの勉強をさせて頂きました。それ以前はロータリーについてほとんど勉強せずに来ていましたので当初大変でした。又大変な時期でした。第4グループが地区とのわだかまりの終息直後の中でのスタートで本当に当惑しました。ほんの少し他グループの中に第4グループに対しご意見をお持ちの方々がいらっしゃいました。

どんな発言、態度を取って良いか考え、目立つ発言、目立つ動きをしないことをガバナー補佐会議では努めてきました。

第4グループでは9月にガバナー公式訪問が終了しました。各クラブの皆様がガバナーよりことの成り行き結論をきちんとお話し頂きました。皆様の了解を頂いたと思えました。小倉ガバナーに感謝申し上げます。

今年ガバナーより、補佐はガバナーから伺うRIの動向、ガバナーのご意見、計画等を正確に幹事会で皆様につたえていくこととされています。とても難しさを感じました。わがグループは会長幹事会にせず(予算が立たないので幹事会にしてほしい)クラブ

からの意見もあり幹事のみ毎回お集まり頂きました。経験豊かな幹事、又経験の少ない幹事、少ない時間の中で重要事項を即時に判断をしてクラブに帰り会員に伝えることが十分できたでしょうか?私の皆様へのお伝えの仕方も問題があったことと思います。大変と思いました。幹事の皆様わからないなかでほんとうによく努めて頂きました。

コロナ禍の中、ゴルフ会も開催できましたし、ゴルフ会、R情報研修会は第2、第3、第4グループ合同で、IMは第3、第4グループの合同で行いました。皆様の御協力を頂き有意義な時が過ごせたことと思います。他グループの皆様とお話ができるチャンスを頂

きました。IMの開催の内容に反省点がありました。

私は本来のロータリーの目的であるボランティア活動をもっと皆で活発に出来たらなと思いました。ロータリーが少し見えてきたこともあると思いますが、しがらみの多いことと最近感じます。ロータリーの勉強・知識の拡大・理解が私にもっともっと必要であることをしみじみ感じたこの一年、反省の年でした。

第4グループの幹事の皆様、第3、第4グループの会員の皆様、地区役員の皆様、地区事務局の皆様、本当に御協力感謝申し上げます。

ガバナー補佐 1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第5グループ ガバナー補佐 梶 暉芳 (木更津RC)



第5グループのガバナー補佐就任以来、小倉ガバナーのロータリー活動を支えるべく自分なりに協力と活動を行なって来たつもりです。

小倉ガバナーはロータリー活動に深い理解と素晴らしい行動力を発揮され、得居研修リーダーの会議をまとめ上げる講評は執行部のレベルの高さを感じ取れるものでした。

第5グループは全体の活動行事として、アクアラインマラソンでの冷凍ブルーベリーの配布により、ロータリー活動を広める目的

を達成。11月の情報研修会では、東京中央ロータリークラブの太田会員、当地区柏西ロータリークラブの水野会員の内外での活動の貴重な体験を拝聴。2月のIMでは、当地区大会で素晴らしい講演をなさいましたRI会長代理の柳生好春氏をお招きし、小倉ガバナーと共にロータリー活動の素晴らしさを拝聴することが出来ました。

最後に小倉年度の第5グループの補佐を務めさせて頂き、他グループの補佐の皆様方と共に活動出来ました素晴らしい1年であったと思います。

ガバナー補佐 1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第6グループ ガバナー補佐 中村 吉政 (勝浦RC)



今年度、『風通しが良く、互いに協力し合える体制づくり』をグループ目標に掲げました。はじめに、私自身が全てのクラブの雰囲気を感じ、また会員と気軽に話ができる環境を構築する為に、年度が始まる以前から全クラブの例会に顔を出させていただき、また会長幹事/地区委員会も頻繁に開催させていただきました。その甲斐もあり、ガバナー公式訪問/R情報研修会/IMといった主なグループ行事も全て各クラブの皆様のご協力のもとスムーズに遂行できました。また、多くの会員にご出席いただき大変実りある研修会と、とても楽しい懇親会も開催する事ができたIMでは、グ

ープ内全てのクラブが、災害時などの緊急時に互いに支援し合える体制づくりの第一歩として、「災害時相互支援体制に関する覚書」を締結いたしました。この覚書の締結はゴールではなく、あくまでもスタートです。私達ロータリークラブは、様々な職業人の集まりですので、いざという時には互いのクラブ間同士の支援はもちろん、行政をはじめ関係機関とも連携して必ずや地域の為に役に立つ存在であるべきです。この第一歩目が踏み出せた事は、グループ内のクラブはもちろん、地域におきまして大変大きな収穫が得られたと思います。今後、より具体的な実践を踏まえた研修を積み重ねていく必要がありますが、地域社会に必要とされる存在であり続けましょう。1年間、誠にありがとうございました。

ガバナー補佐 1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第7グループ ガバナー補佐 平野 一隆 (大原RC)



RIでは“SRF”という捉えようによっては地区ガバナーの資質が問われているようなガバナンスを打ち出し、また第2790地区では同様に、グループ再編と過去のガバナー補佐の資質を疑問視した混乱が生じた状況の中で、グループ内、輪番制に基づきガバナー補佐を務めさせていただくこととなりました。

より大きなプレッシャーを感じつつ、「時間と労力は惜しまず」をモットーに、グ

ープと地区とのパイプ役になりたいという覚悟を持って役職に臨みました。

各クラブへの5回の訪問、ガバナー公式訪問の準備、R情報研修会及びIMの開催等、主な務めを精一杯取り組んだとは思っておりますが、成果はどうだったのか。ガバナーの「元気なクラブづくり」のお手伝いはできたのか。と自問自答しています。各方面からの評価を真摯に受け止め、今後のロータリー活動に活かしたいと思っております。

グループ内各クラブのご協力と当クラブ会員の力強いサポートに感謝し、1年を締め括りたいと思います。

ガバナー補佐 1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第8グループ ガバナー補佐 信太 秀紀 (銚子RC)



2022-23年度第8グループガバナー補佐を務めさせて頂きました。ガバナー補佐ノミニー就任から数えますと、約2年半にわたってこの重

責を経験させて頂いたこととなります。会長幹事会の開催、各クラブ訪問から始まり、10月は犬吠埼ホテルにてアグネス・チャン様をお招きし、R情報研修会を行うことができました。テーマを「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」とさせてい

ただきましたが、彼女の国際社会に対するすばらしい姿勢は、まさにロータリーの国際奉仕そのものでした。3月にはIMを開催いたしました。テーマは「変化への対応」とし、基調講演は新田信行氏をお招きいたしました。講演終了後、前年度ガバナー補佐 神崎薫様に感謝状を贈呈し、次年度ガバナー補佐 網中吉郎様に各クラブの次年度会長をご紹介いただき、盛会のうちに閉会いたしました。結びに臨みまして、会長幹事会、地区関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐 1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第9グループ ガバナー補佐 大堀 成美 (佐原RC)



2021年10月の顔合わせから始まったガバナー補佐としての年度も、終盤を迎える時期となりました。この一年、多くの方と出会い、ロータ

リーの魅力を再発見する貴重な経験をさせて頂きました。

各クラブの例会を訪問し、自クラブでは味わうことのできない、それぞれのクラブの特色に触れたこと、研修会の開催に向けた研修リーダー・アドバイザー3委員長とのオンラインでの打ち合わせ、会長・幹事会

で、和やかな懇談の中にも有意義なご助言をいただいたことなど、忘れることのできない思い出がたくさんあります。

第9グループの皆さんには、9月の「ロータリー情報研修会」、2月の「Intercity Meeting」へのご参加をはじめ、多大なるご協力を賜り、感謝に堪えません。

「クラブを元気に」という目標に、ガバナー補佐としてどれだけ貢献できたのか、いささか心許ないところではあります。

反省はこれからのロータリー活動の糧となし、自分なりの“thoughtfulness”と“helpfulness”とを磨いてまいります。

ガバナー補佐1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第10グループ ガバナー補佐 林 康博 (成田コスモポリタンRC)



ガバナー補佐の任期もあと残り2ヶ月となりました。

思い起こせば一昨年6月にクラブ指名委員会

において、推挙されてから小倉ガバナー年度の補佐研修会議を受け2022年1月に第10グループ、6クラブの会長、幹事エレクトの皆様と初顔合わせのミーティングを行い2022-23年度の方針をお伝え致しました。

小倉ガバナー方針の下【ロータリーの基本】は親睦と、奉仕活動であり、如何にしてグループ内6クラブ会員の皆様と「クラブの活性化、元気なクラブ作りのために」をテーマにコミュニケーションを取ることが出来るか？を考えると過去第10グループ全体で夜間合同例会の開催は行っていませんでしたので、ポリオ根絶合同例会としての開催とし、又同時にポリオ根絶チャリティーゴルフ大会も計画を致しました。

9月28日に開催(合同例会、ゴルフ大会)いたしました。当日は小倉ガバナーを始めとして多くのご来賓の皆様をお迎えして盛大に大懇親会を開催する事が出来ました。又参加した皆様と一緒に有意義な時間を過ごす事

ができ、10月に開催されました世界ポリオデーに繋がる例会になりました。更にグループ全体の事業としてロータリー情報研修会、インターシティーミーティングを開催しました。(詳しくは報告書参照)

これらを通じてグループを越えた活動でグループに新しい刺激を与えました。RIや地区と自クラブを照らしながらクラブの増強(全ての)の参考になればと思います。

又年間を通して、戦略計画の立案、実行をお願いいたしました。その結果成田コスモポリタンRCでの初の女性会員の誕生、成田RCでは会員増強8名を達成し奉仕活動優秀ロータリアンとして表彰されました。今後ともPDCAをしっかりと廻して前進して頂きたいと思えます。

次年度は白井RCの鈴木孝ガバナー補佐のもと更なる第10グループになります事をご期待申し上げます。

最後になりますが、一年共にグループを運営して頂きましたガバナー補佐幹事の加瀬邦雄さん、菊池裕史さん、各クラブの会長幹事の皆様、そして成田コスモポリタンRC会員皆様に心より感謝申し上げます。一年間お世話になりありがとうございました。

ガバナー補佐 1 年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第11グループ ガバナー補佐 猫田 岳治 (柏南RC)



ロータリーは単年度制である。ガバナーは毎年交替し、方針や組織が毎年変わる。私は入会してしばらく、いや数年前までは、この事について否定的であった。しかし、昨年度、今年度と地区で役職を頂き、遂行するにつれ、その考えが変わった。「だから良いんだ」と。ロータリアンの価値観は幅広い。正解というものはないと思う。毎年同じ方針で同じ組織で運営していたら、今の繁栄は無かったであろう。奉

仕という概念でつながった仲間が、それを通じて親睦を深める。素晴らしいシステムである。IとかWEとかは関係ない。奉仕そのものが尊い行為だと痛感した一年であった。最後に11グループ内の各クラブで毎月ロータリー特別月間の話をし、つたない私の話を聞いてくださった会員の皆様に感謝したい。加えてグループ運営にご協力頂いた各クラブの会長・幹事にも感謝する。特に一年を通じて補佐してくれたガバナー補佐幹事の小林氏と事務局の斎藤氏に恩に着る。

ガバナー補佐 1 年間を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第12グループ ガバナー補佐 野池 尚美 (佐倉中央RC)



小倉純夫ガバナーの地区スローガン「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」のもとに14人のガバナー補佐の一人として昨年2月の地区チーム研修セミナーからスタートいたしました。夏、ガバナー公式訪問に随行して各クラブに伺った事。

10月 地区大会は久しぶりの対面での開催、アイデア満載の物産展は大盛況でした。

11月 R情報研修会には帯広北RCの細川吉

博PDG(第1地域E/MGA)講演「元気なクラブ作りのためには:ロータリー財団とともにインパクトをもたらす」

3月 IMでは和歌山RCの檜畑直尚PDGが「ロータリー日本の100年、ロータリーの今」と濃密な内容でした。

4月 天候にもめぐまれ充実の親睦ゴルフ大会となりました。

これらの行事、エレクト年度からしますと約2年の関わりでしたが、貴重な時間を過ごさせて頂きました。各クラブ会長・幹事及び会員の皆様には大変お世話になりました。齋藤初美補佐幹事と共に感謝申し上げます。

1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第13グループ ガバナー補佐 高橋 竜一 (松戸東RC)



グループ内5クラブへの訪問、各クラブの活動計画書の拝見、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会、お誘い頂いた奉仕活動や行事の参加等、ど

れも大変貴重な体験をさせて頂きました。そして、多くの気づきと学びをさせて頂きました。

驚いたことにどのクラブもコロナ禍が完全に終わっていない中でも、大変活発にそして生き生きと活動されていることでした。敬意を表すると共にロータリーの素晴らしさを改

めて実感致しました。

また、ロータリー情報研修会とIMの企画は大変悩みましたが、小倉純夫ガバナーと地区ロータリー情報委員会・地区職業奉仕委員会の皆様に多大なるご協力を頂いて何とか終えることができました。

小倉ガバナーからガバナー補佐に課せられた「クラブ内の各クラブを活性化させ、元気なクラブ作りを支援する」というミッションに対してどれだけお役に立てたか分かりませんが、ご協力して頂きました皆様に心より感謝を申し上げます。

ガバナー補佐 1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第14グループ ガバナー補佐 林 剛史 (野田東RC)



2022-23年度の第14グループのガバナー補佐を拝命し一年間活動をして参りました。

ガバナー公式訪問、R情報研修会、IMの開催を

通じて、グループの各クラブに訪問をしました。ありがたいことに、どのクラブでもあたたかく迎え入れていただきました。第14グループの全クラブは元気であり、全会員が元気です。訪問や交流を通して自分が元気を与えられたと思います。

ガバナー補佐は、ガバナーの分身としてグ

ループのクラブを活性化させ、元気なクラブ作りを支援し、地区とクラブのコミュニケーションを仲介する役割を与えられています。私がこの一年でその責務を果たせたかどうかはわかりませんが、至らないこともたくさんあったはずですが、各クラブの会員の皆様と会長・幹事、地区役員の皆様、小倉ガバナーのおかげをもちまして一年間やりとげることができました。心より感謝申し上げます。

今後、第2790地区と第14グループのクラブがさらに発展し、充実した奉仕活動と親睦活動が行われることを切に祈念します。ありがとうございました。

1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 管理運営統括委員会 委員長 吉田 理愛 (勝浦RC)



今、この1年を振り返る時期が来たことに、時間の早さと短さに、ただ驚きを実感しております。果たして統括委員長という立場の私自身は、十分満足いく活動の結果を残せたかと

振り返ると、まだまだ力不足であったと反省しております。しかしながら、管理運営統括委員会は5委員会を統括しておりましたが、それぞれの委員会の委員長の皆様と、大野雅章統括副委員長には1年間の活動を通して、感謝の気持ちで一杯です。

クラブ奉仕・会員増強・基盤向上委員会の活動では、矢代秀明委員長が積極的にクラブの卓話に出向き『オープン例会』の実例などを広く紹介して頂きました。また3月に行いました会員増強・基盤向上ミニセミナーでは、小倉純夫ガバナーはじめ、鶴沢和広ガバナーエレクト、寒郡茂樹ガバナーノミニ、時田清次ガバナーノミニ・デジグネートにもご参加頂き、少人数で中身の濃いテーブルディスカッションが出来た事は、大変感謝申し上げます。

広報・公共イメージ向上委員会では日暮幸信委員長が昨年引き続き、地区公式LINEのリニューアルや友達募集、情報の発信、また成田空港で開催した地区ポリオデーでは、企画準備段階からロータリーポリオプラス委員会と協力しながらプレスリリース、チラシや冊子の作成に積極的に係わりました。更に新たな取組として、各クラブの奉仕活動の内容をまとめた「奉仕プロジェクト」の冊子を作成し、その情報を一括でプレスリリースするなどの活動に取り組みました。

フェローシップ・親睦活動委員会では、渡辺智志委員長が前年からの取組である「CHIBAロー

タリーマップ」を引き継いで掲載事業店の登録方法も分かり易く改善しました。月信4月号では4ページに亘り掲載店の紹介もして頂きました。また地区親睦グループの同好会奨励金制度も新たに直直し改訂しました。

RLI推進委員会でのRLIセミナーは、13年目を迎え実行委員46名で取り組みました。今年度は特に他地区からも多くご参加を頂き、RLIパートIからⅢ迄の修了者は94名でした。更に周藤行則委員長がリーダーシップを発揮し、8月にはZoomにて臨時のDL養成コースも追加され、新たなDL資格取得者が9名増えました。あらためてセミナーにご参加頂いた皆様とDL資格取得まで進んで頂いた皆様に感謝する次第です。

ICT推進委員会は今年度に新たに設置された委員会です。池田勝之委員長は先ず、「オンライン例会実施状況アンケート」をクラブオールで配信し、各クラブの実状を把握しました。その後、未だ例会にオンラインを取り入れていないクラブでも簡単にチャレンジが出来るよう「Zoomマニュアル」の冊子を作成しクラブへ配布しました。

オンライン例会は、コロナ禍に限定された例会ではありません。例会のカタチの柔軟性を取り入れる時の選択肢の一つとして、Zoom例会に積極的にチャレンジして頂きますよう、お願い申し上げます。

管理運営統括委員会、大野雅章統括副委員長には、行事申請、行事報告、会計処理諸々、調整等を一手にお引き受け頂きましたこと、深く深く感謝申し上げます。

最後に、あらためて1年を振り返り、各委員会での活動にご尽力頂いた委員長はじめ委員の皆様と、ご協力を頂いた多くの皆様に、心より感謝とお礼を申し上げます。

1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 奉仕プロジェクト統括委員会 委員長 藤崎 泰裕 (千葉西RC)



新型コロナウイルス感染症の第5波が落ち着き始めた2021年11月頃、2022-23年度幹事長予定者の織田信幸様より「奉仕プロジェクト統括委員長をお願いしたい」というお電話をいただきました。

2022-23年度ガバナー補佐予定者の平野一隆様よりの推薦が入ったの依頼ということで、断ることが出来ずお引き受けしました。あれから約1年半、奉仕プロジェクトについていろいろ精進してまいりました。

ロータリーを学び、真実かつ公平なものであるか判断し、好意と友情を深め、みんなのためになる奉仕活動を進めてまいりました。奉仕活動について各委員会が計画した活動を実践できるよう、各委員長と調整を図り、目的が達成できるようサポートして参りました。特に、予算面については厳しい状況なので、必要に応じて委員会相互の垣根を越え、調整いたしました。

また、ロータリーの重点分野「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」「環境」について、基本情報やニーズに取り組むためのアイデアを少しですが発信いたしました。この7つの分野に対しては、今後まだまだ調査研究が必要で、インパクトのあるプロジェクトが考案されると思います。

藤澤武彦委員長率いる環境委員会では、各

クラブの取組や地区内企業の環境への対策を収集して、セミナー等でご紹介してまいりました。

佐藤康弘委員長率いる青少年奉仕・地区学友会委員会では、各学友会の事業に協力し、地区内でPR活動に取り組み、ロータリー希望の風奨学金の募金にも力を入れました。

高田新也委員長率いる国際奉仕委員会では、他地区の事業を参考に、当地区に合った事業へのバリエーションと研究に取り組みました。実施近くまで進んでいますので、次年度以降に期待いたします。

原 幸司委員長率いる社会奉仕委員会では、ロータリー財団での地区補助金申請に対して、チェックリストの考案に尽力いたしました。

奉仕プロジェクト統括委員会といたしまして、各委員会のバックヤードを、吉田朋令統括副委員長と共に、固めて参りました。

2022-23年度の地区補助金審査では、41件という申請があり、奉仕プロジェクトとしての精査に苦勞いたしました。全てのクラブ申請が審査を通過し、プロジェクトが遂行されることを祈念いたしております。

小倉純夫ガバナーをはじめ、地区関係者ならびに地区内クラブの皆さまに御礼申し上げます。

吉田朋令統括副委員長をはじめ、各委員長ならびに委員会関係者の皆さま、一年間ありがとうございました。

青少年プログラムの1年間を振り返って

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 青少年プログラム統括委員会 委員長 佐藤 孝彦 (浦安RC)



2022-23年度、青少年プログラムの各地区委員会委員の皆様におきましては、本当にご苦労様でした。コロナ禍が収まらない中の年度のスタートで、プログラム運営、非常にご苦労があったと思います。多々の制約の中、また、コロナ禍がどのように解除されてゆくか経験のない対応を迫られる中、時には非常に大きな決断が必要だったと思います。この1年間は地区委員の皆様のご苦労の賜物であったと思います。厚く御礼申し上げます。

一つ一つの活動実績報告は、各地区委員会から報告があると思いますので、本稿では、詳細な活動報告は割愛させて頂きたいと思います。各地区委員会の、今までは報告されなかった、委員長のご苦労について、片鱗でもご紹介できたら幸いと思います。読みづらい点がありましたらご容赦頂けましたら幸いです。

まず、地区インターアクト委員会、久佐野委員長は、ご苦労に頭が下がります。年度初めに地区内の提唱クラブすべてを訪問し、本年度のコロナ禍でのインターアクト活動を説明して、各クラブと綿密な連携を取りました。このことが、年次大会のイレギュラーな開催を成功に導いたと同時に、今まで慣例的に行っていた海外研修に代わるものを短時間のうちに国内研修に変更する同意を得て、職場経験を中心としたプログラムを組み立てることは、多大なご苦労があったと思います。

地区ロータリーアクト委員会、野本委員長は、国際ロータリーにより、ロータリーアクターのロータリアンとの同等な権利が提唱され、負担金等、今までロータリーアクトクラブが経験してこなかった制度変更の中で、プログラムを進めなけ

ればならないご苦労がありました。まだ、ロータリーアクターのこの制度に対する自覚が不足している中、非常に苦労があったと思います。ロータリーアクターの今後の自立に向けて、指導と提唱クラブへの情報提供、ご苦労が多かったと思います。

地区青少年交換委員会、田村委員長は、ここ3年間交換プログラムがコロナ禍で停止している中、交換プログラムの再起動はご苦労が多かったと思います。3年も途切れてしまうと、交渉相手、タイミングなどあらたな交渉が必要となったと思います。そのような中、多くの交換生を送り出し、受け入れたこと、大変ご苦労様でした。

地区RYLA委員会、鳴海委員長は、年度始め大病を患った中、精力的な活動を行い大変感謝申し上げます。実行委員会招集では、多くの会員の声を反映させたいという趣旨で実行委員会を拡大し、コロナ禍の収束の予見が難しい中でも積極的なプログラム展開を行い、歩行ラリーを宿泊形式で再開し、多くの参加者を得られました。実地での交流の大切さを改めて感じました。

青少年プログラムは、本来、ホームクラブが中心となり進めていかなければならない部分が多いものです。プログラム運営には多大なエネルギーが必要となります。長年の活動の中で、プログラムを維持することが負担となり、時にはクラブが関わることをあきらめているような事も散見されます。国際ロータリーが提唱している、青少年の育成は、社会経験が豊富なロータリアンにとって、社会貢献できる非常に大きな分野であると思います。言葉が極端かもしれませんが、青少年の育成はロータリーの社会からの評価の大きな要因となっていると思います。苦労は大きいと思いますが、是非とも青少年プログラムの重要性を認識したうえで、各クラブの積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

1年を振り返って～諸活動のご報告と所感

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 ロータリー財団統括委員会 委員長 漆原 摂子 (勝浦RC)



小倉純夫ガバナー年度に入り、コロナ禍からの緩やかな脱却が始まる中、6つの委員会から構成される当職を拝命致しましたこと、身の引き締まる思いがございました。毎月1回開催される6委員

会合同の会議は、Zoomとインパーソンのハイブリッド形式にて開催、各委員会が縦割りにならず横の連携を築き、ロータリー財団の使命や諸活動の理解、また最新情報の共有に努めて参りました。

7月から8月にかけては、地区及びグローバル補助金奨学生候補の皆様へ、2回にわたるオリエンテーションを開催致しました。学友会の皆様にもご協力いただき、候補生へはそのご経験から渡航先での注意事項や定期報告事項など多岐に渡るご指導をいただき、併せて、ロータリー財団に関するレクチャーを実施、現地でのロータリー会員との交流をお願い致しました。晴れて奨学生となられた皆様からは、渡航後の定期報告を通して、活躍の様子を委員会一同で共有致しております。

9月には、ハイブリッド形式でロータリー財団セミナーを開催し、地区内クラブの財団委員長ほかガバナー補佐の皆様にもご参加いただき、財団に関する基礎的な情報をご提示申し上げ、財団へのご理解ご協力を仰ぎました。

10月23日には、成田国際空港において、ポリオプラス委員会企画の世界ポリオデーが開催されました。小泉成田市長・井原第一地域RPICのご来臨を賜り、地区内外ロータリアンはじめ成田国際高等学校の学生さん他、総勢約400人の皆様にお集りいただきました。

11月に、RI会長ジェニファーE.ジョーンズ氏・財団管理委員長イアン・ライズリー氏来日のもと開催されたロータリー研究会では、当地区が実施した世界ポリオデーイベントが高く評価され、フォトコンテストではRI理事賞受賞、またイ

ベント実施に関して松永達人Rポリオプラス委員長が登壇し事例発表させていただくといった機会を賜りました。更には、柏西ロータリークラブの、高いロータリーカード利用額の表彰も執り行われました。

年が明けて1月末には、次年度地区補助金/グローバル補助金の申請に関する、補助金管理セミナーをハイブリッドにて開催致しました。その後地区補助金に関しましては、地区内クラブから41件の申請があり、例年通り奉仕プロジェクト委員会にて内容をご確認いただき、結果地区の審査は全件受諾させていただきました。

今回の地区補助金申請に関し、人道的国際奉仕に関する特典を廃止し、どの補助金でも一律上限を60万円とする等々、従来の地区の条件を緩和しましたことは、次年度ガバナーの鶴沢和広氏のご意向すなわち多くのクラブが使いやすい地区補助金をとのお声を鑑みしました。皆様にとって使いやすい補助金を目指し、今後も検討して参ります。

一方、地区内年次基金及びポリオプラス基金に関するお一人あたりの額ですが、昨年に比べ低調でございます。これは特に昨秋、円安による影響が少なからずあるものと推察致しますが、それぞれ目標額に達しなかった場合には、その責を反省せざるを得ない状況です。

また財団本部は、長引くウクライナ侵攻にて被災した人々への基金に加え、パキスタン洪水やトルコ・シリア地震への基金を発表、これを受けて地区内クラブにご案内申し上げましたところ、多くのクラブからご協力をいただきましたことは、大変有難く思っております。今後もこのような自然災害は発生すると考えますが、引き続き皆様のご理解をお願いする次第です。

結びにあたり、新米統括委員長をご指導くださいました、時田清次統括副委員長/ガバナーノミニ・デジグネートには、心より感謝申し上げます。また6つの委員会の全委員の皆様にも、ワンチームとなってご活動・ご活躍いただきました1年に厚く御礼申し上げます。

RLIパートⅢ並びに懇親会報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 RLI推進委員会 委員長 周藤 行則 (浦安RC)



2023年4月1日土曜日に千葉市民会館に於いてRLIパートⅢを開催しました。RLIはロータリー・リーダーシップ研究会(Rotary Leadership

Institute)の略称です。RLIは世界中で広く採用され、日本でも34地区中24地区が積極的に導入し、ロータリアンとしての意識向上とクラブ活性化を目的とする多地区合同のディスカッション参加型研鑽プログラムです。今回は第2790地区外からの参加者3名、当地区参加者31名合計34名の受講者でした。パートシリーズ終了者は26名です。パートⅢでは「私のロータリーの旅」というテーマで、「ロータリー財団」「規定審議会・決議審議会」を含めた計6セッションを実施しました。今回も開催にあたり46名のディスカッションリーダー(Discussion Leader略してDL)の皆様には実行委員としてご協力頂きました。各セッションチー

ムは、Zoom会議を利用して、基礎知識から専門的な知識まで幅広く情報共有し、入念な事前ミーティングを繰り返し、セッションに備えていただきました。RLI参加の醍醐味は、DLと受講生が一体となって、クラブを越えた仲間を増やし、愉しくロータリーを語り合えることではないかと思えます。皆様のご協力に感謝いたします。終了後は会場を三井ガーデンホテル千葉へ移動して懇親会を開催しました。受講生、実行委員の皆様が一堂に会し、一人ずつ壇上に上がり、受講の感想やRLIに対する思いを話して頂き懇親を深めました。修了の皆様には、今後開催の「卒後コース」と「DL養成コース」を受講し、DL資格取得後、実行委員として是非RLIを盛り上げて頂けたら幸いです。次年度に向けての課題ですが、パートシリーズ開催時期は、各グループのIM開催日と重複しやすいことです。次年度は極力パートシリーズ開催日と重複しないようご配慮いただけると幸いです。



スプリングキャンプ レポート

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 青少年交換委員会 委員長 田村 隆治 (八千代RC)



4月1～2日に来日学生、派遣候補生を合わせ14名で山梨県へスプリングキャンプに行っていました。日本一の富士山を拝みながら、歴史を学ぶとともに学生同士の親睦を深める有意義な事業となりました。多くの皆さまがみるみる成長していく学生たちに喜びを感じていただければ幸いです。来日学生が頑張って日本語で感想を書きましたのでご高覧ください。

クリスチャン(松戸RC)

1泊2日ではすべてを十分に楽しむには時間が足りなかったと思います。もっとゆっくり過ごす方がより良い方法だったのかもしれない。活動そのものについて。とても楽しかったし、どれもとても楽しかったです。

エリー(船橋東RC)

スプリングキャンプは充実した時間を提供し、友達に追いつきながらリラックスして活動を楽しむことができました。

今後は旅行を1日以上延長することをお勧めします。より大きな活動により多くの時間を費やすことができます。また、日程に文化・観

光活動を追加すればこの地域を探索することができます。

全体的に、改善できるいくつかの点で素晴らしい経験でした。

リア(君津RC)

春季キャンプは本当に楽しかったです。もっと長く行きたかったけど、2日間でも十分楽しめました。友達と過ごすのが好きなので、友達と観光に行くのも最高でした。

富士急ハイランドは最高でした。丸一日あそこで過ごせたらよかったのと思います。餅つき工場も面白かったです。またどこかでもっと長い旅ができるといいなと思います。

ブルックリン(勝浦RC)

スプリングキャンプ、最初は少し緊張しましたが、みんなと本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。私たちが一緒に過ごした最高の絆の瞬間の1つだったと本当に感じています。

私が最も楽しかったと思うのは、自由に探索できる時間でした。私たちは皆で桜の美しさを楽しむために散歩をしました。

終わってしまうのは寂しかったけど、みんなと作った思い出を大切にします。そして将来またみんなに会えることを願っています。



50周年記念式典を終えて

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 松戸北ロータリークラブ 会長 大川 高明



4月12日柏日本閣において50周年記念式典が挙行されました。

式典当日は小倉純夫ガバナーをはじめとする24人の来賓をお迎えし、総勢60人で賑やかに

式典と祝賀会を実施することができました。

当クラブは1973年(昭和48年)4月2日に松戸ロータリークラブをスポンサークラブとして創立(会員28名)、松戸で3番目のクラブとして認証されました。創立以来、歴代の会長、役員はじめ会員各位のたゆまざる努力と他クラブを含め諸先輩方の適切なるご指導により50年間歩んで来られました。会員一同感謝の念に堪えません。改めまして感謝申し上げます。

式典では最初に小倉純夫ガバナーから松戸北ロータリークラブが伝統と格式のあるクラブであること、今後とも楽しいクラブ作りをとのご祝辞を頂きました。

次に松戸市長から地域の社会奉仕活動への御礼とお祝いのメッセージを頂きました。

引き続き、橋岡久太郎パストガバナーからロータリーにおける温故知新(伝統と未来)をテーマに基調講演を頂きました。古き良き伝

統を大切に先達の熱き情熱に思いを馳せ、今日のロータリーの情勢についても詳細に語って頂きました。また、ロータリークラブは様々な分野で活躍する人達が楽しく集う中で色々な事が学べるのが良いところであるとのお話を頂き、最後に能楽の大変おめでたい「高砂」を声高らかにご披露頂きました。

また、祝賀会では「大川由紀子オーロラバレエスタジオ」による芸術舞踏バレエコンサートがあり、研ぎ澄まされた気品と華麗さに魅了されました。松戸市にも素晴らしい芸術団体が有る事を再認識させて頂きました。

50周年記念事業を実施するにあたっては会員一人一人がそれぞれ得意分野を受け持ち一丸となった事で式典を成功裏に終了させる事ができたのではないのでしょうか。この事は当クラブが更なる高みを目指すきっかけになったことは間違いのないことと確信いたします。

現在の会員数は37名です。会員増強にも力を入れながらこの先も職業奉仕・親睦の2本の柱を大事に松戸北ロータリークラブの発展と第2790地区を盛り上げるべく邁進していきたいと思えます。引き続き皆さまのご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。



勝浦ロータリークラブ記念式典を終えて

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 勝浦ロータリークラブ 会長 三上 直哉



勝浦ロータリークラブは、4月16日(日)にホテルブルーベリーヒル勝浦を会場に創立60周年記念式典を行いました。森英介衆議院議員をはじめ、地元県議会議員、勝浦市長、多くの来賓の方々にお越しいただきました。小倉ガバナーをはじめ、地区内、グループ内の多くのロータリアンにもご出席いただき感謝申し上げます。

今回の周年事業は、勝浦ロータリークラブがこれまで行ってきた奉仕活動の中でも青少年奉仕、青少年育成と青少年交換プログラムにフォーカスして発表しました。今年度の地区補助金を活用させていただきました「地域の子どもたちとSDGsについて考え、行動するプロジェクト」は60周年記念事業に位置付け、地元の中学生全校生徒とともに地域で取り組めるSDGsについて貴重な授業時間を活用させていただきディスカッションしました。次世代を担う中学生とロータリアンが一つのテーマ基

づき真剣に語り合い、地域愛をも継承出来たと感じております。

私たちは、この周年記念事業を終え、式典にて独自の「勝浦ロータリークラブSDGs宣言」をさせていただきました。勝浦ロータリークラブが地域全体で取り組んでいけるSDGs活動のリーダーシップとなれるように今後も継続して取り組んでまいります。

当日は、ご出席いただきました方々に青少年交換プログラムの冊子をお渡しさせていただきました。これには数多くのインバウンド、アウトバウンドの現在の声を集めレポートを掲載しました。読んでいただきました方々からも素晴らしい冊子だったとの声もいただきました。

勝浦ロータリークラブは、伝統と歴史を継承しつつ、新たな奉仕活動にも積極的に取り組みます。今後とも宜しくお願いいたします。ありがとうございました。



第2790地区 2022-23年度 地区大会記念ゴルフ大会

2023年 5月15日(月) 鷹之台カンツリー倶楽部(参加者 40組158名)



地区大会記念ゴルフ大会成績

(敬称略)

■ グループ対抗戦 成績

順位	グループ名
優勝	第4グループ
準優勝	第11グループ
3位	第9グループ

■ 個人総合 成績

順位	氏名
優勝	松尾 博之 (千葉南 RC)
準優勝	常世田 正弘 (千葉南 RC)
3位	白鳥 晴嗣 (小見川 RC)

■ シニア 成績

順位	氏名
優勝	大堀 成美 (佐原 RC)
準優勝	伊藤 義雄 (野田 RC)
3位	鴨狩 睦 (千葉若潮 RC)

■ レディース 成績

順位	氏名
優勝	張 瑤 (千葉港 RC)
準優勝	霞末 みち代 (松戸中央 RC)
3位	成島 陽子 (成田 RC)

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



時田 清次
(市原中央RC)
9回



島田 秀貴
(柏RC)
7回



稲垣 典子
(柏RC)
5回



鈴木 荘一
(君津RC)
4回



萩原 宏次
(柏RC)
4回



鈴木 秀一
(柏RC)
4回



星本 慎児
(鎌ヶ谷RC)
3回



森 信一
(新千葉RC)
3回



尾形 文貴
(千葉幕張RC)
3回



井本 良三
(習志野中央RC)
3回



宮本 和夫
(千葉幕張RC)
2回



花島 和宏
(柏RC)
2回



藤川 崇
(柏RC)
2回



石井 幸夫
(新千葉RC)
1回



宮嶋 康明
(新千葉RC)
1回



長谷川 七三一
(新千葉RC)
1回



鈴木 重信
(大原RC)
1回



古里 正
(柏RC)
1回

新ポール・ハリス・フェロー



稲葉 弘尚
(新千葉RC)



中山 雅照
(新千葉RC)



渡邊 圭介
(新千葉RC)



白鳥 真
(新千葉RC)



村山 洋一
(新千葉RC)



増田 和人
(新千葉RC)

新ベネファクター



尾形 文貴
(千葉幕張RC)



服部 秀雄
(柏南RC)

米山功労者



森 信一
(新千葉RC)
17回



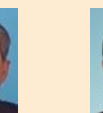
廣田 二郎
(君津RC)
12回



辻 隆之
(新千葉RC)
10回



岡本 和也
(市原RC)
7回



鈴木 荘一
(君津RC)
6回



井本 良三
(習志野中央RC)
5回



松永 達人
(富里RC)
4回



鈴木 隆男
(船橋東RC)
2回



吉川 末満
(柏南RC)
2回



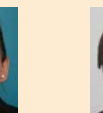
櫻井 好美
(柏南RC)
2回



前島 孝夫
(千葉南RC)
1回



武田 富士子
(君津RC)
1回



荘司 洋樹
(大原RC)
1回



山藤 利夫
(富里RC)
1回



川村 由里子
(柏RC)
1回

新ロータリアン(敬称略)



白石 和也
(市川RC)
建築
3月9日



鈴木 秀範
(君津RC)
建設業
4月3日



鳥取 秀郎
(君津RC)
給排水工事
4月3日



木原 祥智
(野田RC)
会計士
4月3日



笠井 富雄
(八街RC)
地方銀行
4月5日



亀山 雅章
(船橋東RC)
証券業
4月6日



伊藤 健二
(館山ベイRC)
タイヤ卸
4月6日



大関 淳平
(松戸中央RC)
塗装業
4月6日



水戸 哲二
(市川東RC)
不動産業
4月11日



猪早 恵美子
(柏RC)
社会福祉
4月12日



柴田 実
(柏RC)
地方銀行
4月12日



福岡 淳司
(船橋西RC)
証券業
4月14日



木村 栄宏
(旭RC)
大学教授
4月14日



詫間 堅司
(銚子東RC)
地方銀行
4月18日



草野 晃
(柏RC)
都市再開発
4月19日



寺内 亮祐
(柏RC)
商業銀行
4月19日



田淵 邦和
(柏西RC)
生命保険
4月21日



並木 勝宏
(柏西RC)
地方銀行
4月21日

物故会員(敬称略)



塚本 眞巳
(市川RC)

逝去日:2023年3月20日 ロータリー歴:1997-98 クラブ会長
(享年88歳)

国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2023年3月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2022 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	3	39	2	39	3	0
	市川東	100.00	3	36	1	36	2	0
	市川南	93.00	4	18	2	20	2	2
	浦安	86.80	4	36	2	38	2	2
	市川シビック	78.00	3	29	0	30	0	1
	浦安ベイ	69.40	3	22	3	22	3	0
	平均	87.87	3.33	30.00	1.67	30.83	2.00	5
第2グループ	船橋	86.90	3	28	0	29	0	1
	船橋西	86.20	4	24	4	23	4	△1
	鎌ヶ谷	84.92	5	27	1	27	1	0
	船橋東	71.42	5	24	2	22	2	△2
	船橋南	86.36	4	12	2	13	2	1
船橋みなと	89.66	3	15	2	14	2	△1	
平均	84.24	4.00	21.67	1.83	21.33	1.83	△2	
第3グループ	千葉	73.51	4	109	6	117	7	8
	新千葉	100.00	4	54	0	56	0	2
	千葉西	81.57	3	45	5	43	7	△2
	千葉中央	100.00	4	24	1	23	1	△1
	千葉幕張	81.37	3	33	3	34	3	1
	千葉東	85.00	3	24	1	25	1	1
	千葉若潮	75.64	3	32	1	32	1	0
平均	85.30	3.43	45.86	2.43	47.14	2.86	9	
第4グループ	千葉南	75.67	4	44	2	50	3	6
	市原	50.86	2	74	5	75	5	1
	千葉港	56.30	2	24	4	26	5	2
	市原中央	57.14	3	35	1	35	1	0
	千葉北	63.89	4	27	4	27	4	0
	千葉緑	80.95	1	23	2	23	2	0
平均	64.14	2.67	37.83	3.00	39.33	3.33	9	
第5グループ	木更津	69.30	4	25	4	28	5	3
	上総	51.46	4	15	0	17	0	2
	富津中央	76.77	4	32	4	31	4	△1
	木更津東	74.56	4	41	6	45	6	4
	君津	72.52	3	56	6	57	7	1
	袖ヶ浦	82.41	4	23	3	21	2	△2
富津シティ	73.00	4	16	1	16	1	0	
平均	71.43	3.86	29.71	3.43	30.71	3.57	7	
第6グループ	館山	79.09	4	49	4	46	3	△3
	鴨川	81.12	3	26	4	29	4	3
	勝浦	97.22	3	34	4	36	4	2
	千倉	83.30	1	5	2	6	2	1
	鋸南	79.16	2	11	1	12	1	1
	館山ベイ	61.11	4	26	0	28	0	2
平均	80.17	2.83	25.17	2.50	26.17	2.33	6	
第7グループ	茂原	87.50	4	52	4	53	5	1
	東金	89.13	2	23	3	24	3	1
	大原	81.60	4	10	1	12	1	2
	大多喜	87.50	2	7	1	8	1	1
	成田空港南	80.15	3	27	1	27	1	0
	茂原中央	82.12	3	26	3	27	3	1
	大網	77.42	5	30	2	31	2	1
	東金ビュー	67.00	3	10	1	10	1	0
平均	81.55	3.25	23.13	2.00	24.00	2.13	7	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2022 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	83.53	5	36	3	35	3	△1
	旭	58.00	3	38	3	37	3	△1
	八日市場	58.03	3	38	3	37	3	△1
	銚子東	80.00	3	28	3	26	2	△2
	平均	69.89	3.50	35.00	3.00	33.75	2.75	△5
第9グループ	佐原	68.29	2	43	0	43	0	0
	多古	70.25	4	17	0	18	0	1
	小見川	92.55	4	27	0	27	0	0
	佐原香取	88.88	3	20	0	21	0	1
平均	79.99	3.25	26.75	0.00	27.25	0.00	2	
第10グループ	成田	70.61	5	63	7	66	8	3
	八街	78.97	3	24	2	23	2	△1
	印西	81.80	5	11	1	11	1	0
	白井	83.58	4	11	1	11	1	0
	富里	42.85	3	36	1	37	1	1
成田コスモポリタン	55.09	5	68	0	70	0	2	
平均	68.82	4.17	35.50	2.00	36.33	2.17	5	
第11グループ	柏	67.24	3	60	8	56	8	△4
	我孫子	79.41	2	32	3	34	3	2
	柏西	87.49	4	54	5	49	4	△5
	柏東	79.20	5	29	4	29	4	0
	柏南	72.38	3	36	9	36	9	0
平均	77.14	3.40	42.20	5.80	40.80	5.60	△7	
第12グループ	習志野	52.38	4	27	1	28	1	1
	八千代	86.45	4	53	0	54	0	1
	佐倉	73.26	4	42	3	44	3	2
	八千代中央	79.62	3	19	1	20	1	1
	四街道	61.19	3	25	4	27	4	2
	習志野中央	59.95	4	42	5	44	4	2
	佐倉中央	63.46	4	14	4	13	4	△1
平均	68.04	3.71	31.71	2.57	32.86	2.43	8	
第13グループ	松戸	94.69	4	57	0	58	0	1
	松戸東	76.92	5	43	0	44	0	1
	松戸北	76.20	4	35	1	37	1	2
	松戸中央	70.40	5	30	7	33	7	3
	松戸西	84.01	3	23	0	23	0	0
平均	80.44	4.20	37.60	1.60	39.00	1.60	7	
第14グループ	野田	75.41	4	56	4	64	6	8
	流山	80.00	3	19	4	20	4	1
	野田東	75.00	4	16	0	15	0	△1
	流山中央	82.50	2	20	1	20	1	0
	野田セントラル	81.82	4	20	1	22	1	2
平均	78.95	3.40	26.20	2.00	28.20	2.40	10	

クラブ数 82RC		
2022年7月1日	地区会員数	2,614人
2023年3月末日	地区会員数	2,675人
2022年7月1日	地区女性会員数	200人
2023年3月末日	地区女性会員数	208人
当月平均出席率		76.15%
増減		61
女性会員増減		8

ロータリーレートのご案内

ロータリーレートのご確認につきましては、「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

↓地区HP

